

AI開発の歴史的転換点：ジェフ・ディーンの新会社「Discovery Loop」が目指す「研究の自動化」

2026年8月、GoogleのAI開発を牽引したジェフ・ディーン氏が最強チームと設立。AIが自ら科学研究のサイクルを回し、自己改善を繰り返す「自動実験ループ」で、開発速度を計算資源の限界へシフトさせる。

創業チームと「自動化ループ」のミッション

AI界の「ドリームチーム」による創業



ジェフ・ディーン
MapReduce, BigTable, TensorFlow, Gemini



サンジェイ・ゲマワット
Google File System, MapReduce, Spanner



オリオル・ビニャルス
AlphaFold, AlphaStar, Gemini テクニカルリード



クオック・レ
AutoML, word2vec, CoT(思考の連鎖) 総指揮

ジェフ・ディーン氏を含むGoogle/DeepMindの中枝人材4名が、100億ドルの評価額で交渉中のの超大型スタートアップを始動。

Googleでの主な貢献・技術

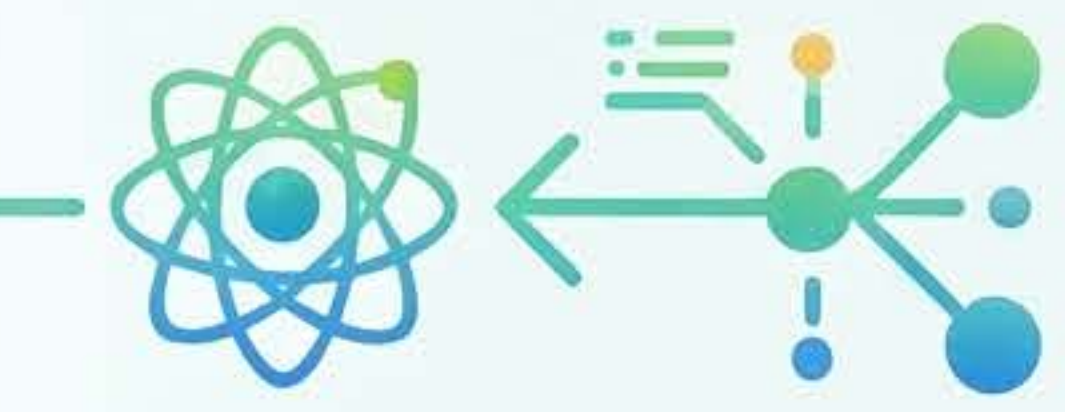


Alphabetとの「友好的スピンアウト」
Alphabetは創設投資兼クラウドパートナーとして参加。人材流出でありながら、外部革新を取り込む戦略的提携の側面を持つ。

再帰的自己改善（RSI）と知財への影響



AIがAIを改良する「再帰的自己改善」
自社の技術スタックを「最初の顧客」として、AIが自らを高速最適化し続ける自己改善プロセスの実現を追求。



AI-for-Scienceへの重心移動
業界の注目は「フロンティアモデルの開発」から、創薬や材料開発をも加速させる「研究自動化インフラ」へとシフト。



知財実務における「人間の関与」の重要性
AI単独の発明は特許不可とされる中、高度に自動化された研究プロセスにおける「人間の介在証跡」の管理が不可欠に。